

村の駅だより

平成28年10月20日

第7号

「村の駅とよおか(仮称)」
開設準備委員会
豊丘村役場 産業建設課
TEL 0265-35-9056

今回は、「村の駅」住民説明会の報告、道の駅名称募集、Facebookページ開設や、皆さまからいただいたご意見を「村の駅 Q&Aコーナー」でお知らせします。
お気づきの点などございましたら、何なりと、ご意見・ご要望などお寄せください。

「村の駅とよおか(仮称)」住民説明会を開催しました。

「村の駅とよおか(仮称)」の住民説明会を9月26日(月)の午後と夜間の2回、10月2日(日)午前中に1回の合計3回開催しました。

説明会では、「村の駅」の設計に対する考え方や、外観図・イメージパース、イメージ平面図などをご覧いただき、施設の概略や、利用者の観点からみた利便性などについて説明しました。



出席された皆さまから、「お客様の立場や、出荷生産者の立場からみた使い勝手」などいろいろなご提案やアイデアをいただきました。できる範囲で基本設計・詳細設計にも反映してまいります。



道の駅 名称募集!

「村の駅とよおか(仮称)」は、平成30年(2018年)オープンに向け、国土交通省「道の駅」に登録します。そこで、豊丘村を全国にアピールし、末永く皆様に愛され親しまれる「道の駅」の名称を募集中です。

- 応募資格 ・全国どなたでも応募できます。年齢制限はありません。
- 応募締切 ・平成28年11月20日(日)まで
- 募集要項 ・応募の注意点など、詳しくは募集要項をご覧ください。
募集要項は、豊丘村公式ホームページに掲載しているほか、役場にも備えつけてあります。またスマホなどから「応募フォーム」を通じて簡単に応募できますので、村のオアシスとなる「道の駅」として、多くの皆さまの応募をお待ちしております。

「村の駅とよおか(仮称)」 Facebook ページ 開設しました。



村民の皆様から「若い世代に村の駅の情報が届かない!」というご意見をいただきました。そこで若い世代の利用が多いFacebook上に「村の駅とよおか(仮称)」ページを開設しました。今後Facebook上でも最新情報を発信していきます!!

スマホからもアクセスできますので、空き時間などに、ぜひご覧ください。
みなさんの「いいね」や、「シェア」で、全国に豊丘村をPRしましょう。

村の駅とよおか(仮称)Faceboo 検索



<村の駅 Q&Aコーナー>

村の駅 魅力アップ↑↑ アイデア募集を引き続き行っています。
色々なお集まりや、役場へお越しいただいた方、メールなどでいただいたご意見のうち、一部をQ&A方式にまとめました。

Q 体験型観光や、体験型の工芸品製作などのプログラムは、いつまでも心に残り「豊丘を思い出す」と思いますので、そういった体験型プログラムを導入してはどうでしょうか。(女性)

→A ご提案ありがとうございます。「体験型プログラム」は、訪れた「その地」のことが心に残ると一般的に言われています。
「体験型プログラム」が出来るよう研修室も計画していますので、皆さまの中で、得意分野がありましたら、「村の駅」を利用し、講師として皆さんの趣味や技術を「子どもたち」に伝え、思い出に残る「豊丘村」になるよう、ご協力をお願いします。

Q フリーマーケットなど身近な人たちで、出店や参加が出来れば楽しいと思いますがその様な企画や計画はありますか。(女性)

→A ご提案ありがとうございます。村の駅には「屋根付のイベント広場」を設置しますので皆さんが楽しくて交流出来る「フリーマーケット」なども日程を決めて実施したいと考えています。「村のオアシス」になるような提案を引き続きお待ちしております。

Q 生産者出荷用の駐車場は屋根付とのことだが、他の直売所には屋根は付いていない所が多い。無駄な設備を付ける必要はない。(男性)

→A ご意見ありがとうございます。生産者出荷用駐車場の屋根は無駄な設備とのことですが、村の駅は「村民みんなの施設」ですので、買い物をされる方だけでなく、農産物等を出荷していただく生産者の皆さまにも優しい施設が必要だと考えます。特に荒天時など条件の悪い日でも出荷しやすい屋根付駐車場にすることで、村民の皆さまのオアシスになる「愛される道の駅」になると考えますので、生産者出荷用の駐車場は屋根付といたします。

Q ATMの設置や、金融機関なども近くにあると便利だと思いますので、検討をお願いします。(男性・女性 複数)

→A 地元の方の日常利用という点では、ATMや金融機関の設置は利便性向上につながると考えますので、そういったご意見があった旨を、金融機関にお伝えさせていただきます。ご意見ありがとうございます。

<支配人(高木)からひとこと>

9月26日(月)と10月2日(日)の(合計3回)住民説明会に加え、「農業委員会」や、林原木門で開催された「村長としゃべらまい会」においても「村の駅」の話をさせていただきました。

また、先月に引き続き、道の駅登録に向けて、国土交通省(飯田国道事務所)と事前協議を実施しました。10月5日に伊那市公民館で行われた「直売所学校」では、「農産物加工品」についても学んだり、農業技術者連絡協議会(村・JA・だいち)の視察では関東地区の「道の駅」先進地や種苗メーカーで近年需要が増えているイタリア野菜についてのお話を聞いたり開発圃場を見学しました。今後の直売野菜品揃えの参考になりました。

皆さんと一緒に「地元のお客さんが利用しやすく活気ある道の駅」を目指していますので、どうぞよろしくお願いいたします。



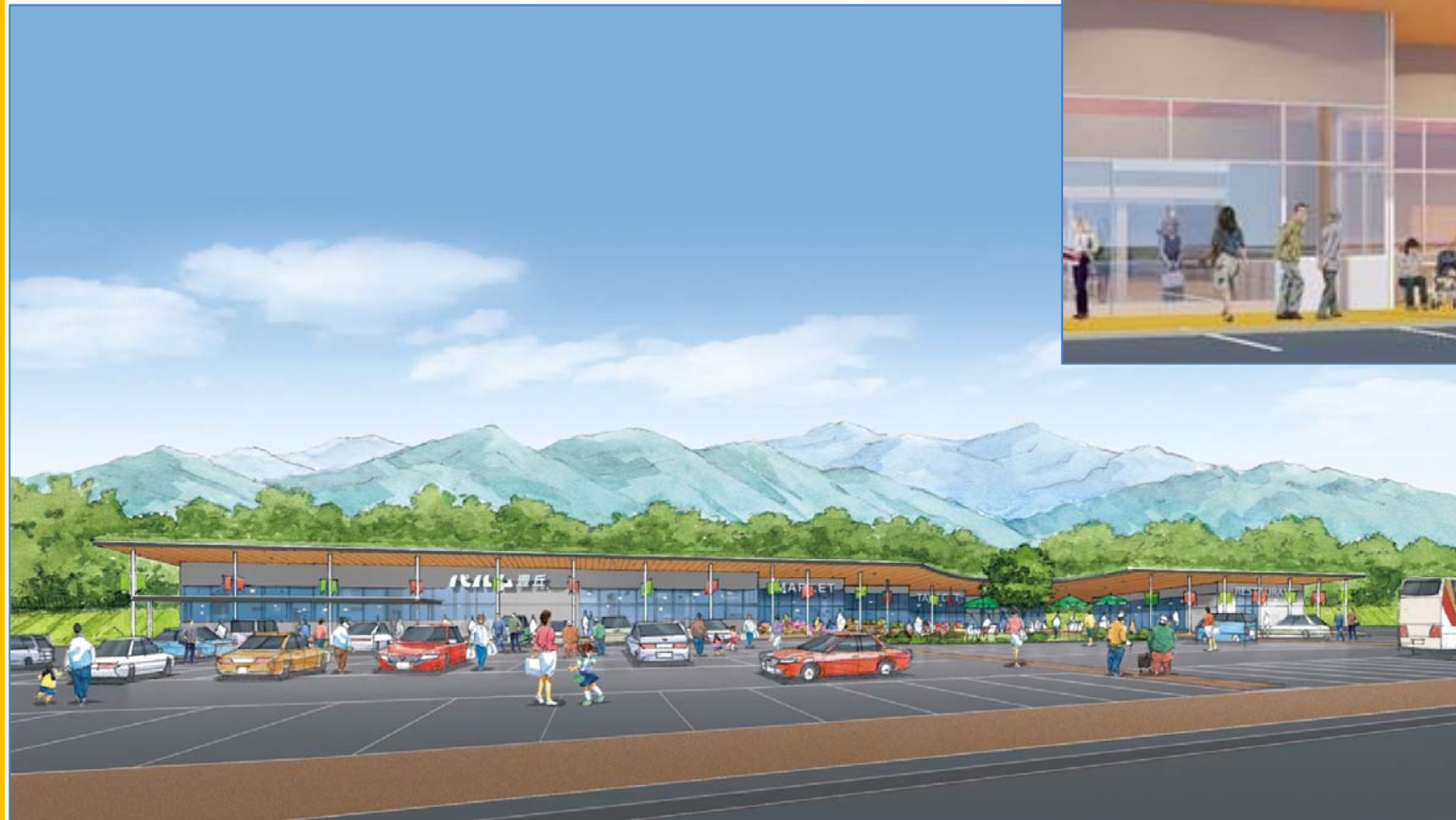
「村の駅とよおか(仮称)」 ～イメージパース～



▲ 駐車場から見た「村の駅とよおか(仮称)」外観図



▼ 上空から見た「村の駅とよおか(仮称)」(鳥瞰図)



▲ 竜東一貫道路から見た「村の駅とよおか(仮称)」



▲ 「村の駅とよおか(仮称)」平面図



●「村の駅とよおか(仮称)」基本設計デザインについて●

村の駅は、地元の皆さまが利用しやすいことを第一に、また新たな多世代交流の場となるような設計としています。建物の前面には軒下空間を設置し、奥に進むにつれ、「段々に配置されたデザイン(雁行スタイル)」を採用することで、軒下それぞれの部分に小さな居場所をつくり、懐部分に「イベント広場」のスペースを生み出します。軒下空間からイベント広場まで一体的な屋根付空間は、心地よい小さな居場所や、長く滞在できる空間を生み出し、ただ買い物するだけの場所ではなく、新たな多世代交流の拠点、「村のオアシス」として機能します。

※イメージパース・平面図は、基本設計や詳細設計で一部変更する場合がございます。